

## 自己資本

### 「自己資本比率」は、金融機関の健全な体質を示す指標です！

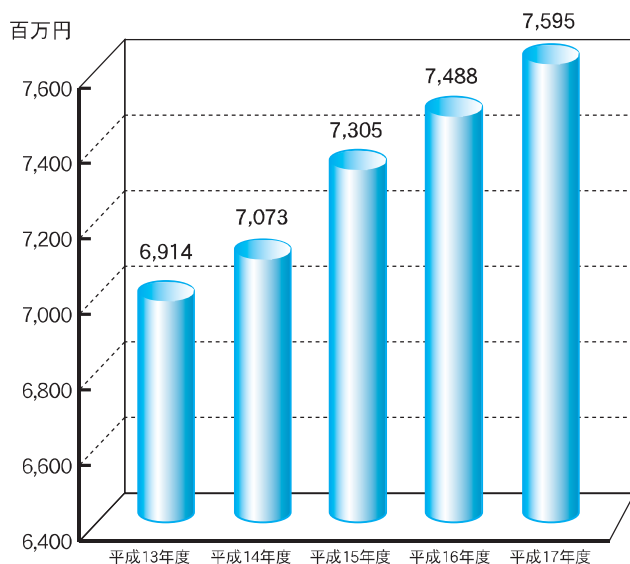
自己資本比率は、海外に営業拠点を有しない金融機関は国内基準を採用し、4%以上が目標とされております。この内部留保が総資産のどれくらいにあたるかは、経営の健全性を判断する重要な指標の一つであり、安心してお取引いただける度合いともいえます。当金庫の平成17年度の自己資本は8.87%で、国内基準を上回っており、経営の健全性は確保されております。

#### ● 単体自己資本比率（国内基準）

（単位：百万円）

項目		平成16年度	平成17年度
基本的項目	出資金	1,068	1,064
	利益準備金	816	839
	特別積立金	4,344	4,544
	次期繰越金	83	61
	処分未済持分	△0	△0
	計(A)	6,312	6,509
補完的項目	再評価額と再評価の直前の帳簿価額の差額の45%相当額	—	—
	一般貸倒引当金	475	385
	負債性資本調達手段等	700	700
	補完的項目不算入額	—	—
	計(B)	1,175	1,085
控除項目	他の金融機関の資本調達手段の意図的な保有相当額	—	—
	控除項目不算入額	—	—
	計(C)	—	—
自己資本額	(A)+ (B)- (C) (D)	7,488	7,595
リスク・アセット等	資産(オン・バランス)項目	78,956	82,664
	オフ・バランス取引項目	3,675	2,953
	計(E)	82,631	85,618
単体自己資本比率	$= \frac{D}{E} \times 100$	9.06%	8.87%

自己資本の推移



自己資本比率の推移

